

国際交流研究科国際交流専攻

2023 年度 入学試験問題（小論文）

（一般入試第Ⅲ期）

小論文問題

以下の設問（１）～（４）の中から２問を選択し、それぞれに別の解答用紙を使って解答しなさい。なお、解答にあたっては、選択した問題番号を明記しなさい。

- （１）2004年にスウェーデンの大学教授エリック・ストルターマン（Erik Stolterman）がDX（デジタル・トランスフォーメーション）という概念を発表し、急速に世界中に普及していった。2023年にはDX実施済みの企業が生み出す商品やサービスの総額が、世界のGDPの5割以上に達するとも言われている。DXを活用して成功した企業を1つあげ、デジタルを使って従来のビジネスモデルのなにをどのように変革（トランスフォーメーション）したのか具体的に説明しなさい。

- （２）ヒンドゥー文化の影響を受けたインドネシア共和国のバリ島のケチャ（男性合唱と舞踏）は、災害や疫病を鎮める呪術儀礼として伝承されてきた伝統文化であった。20世紀前半、ケチャはオランダの植民地時代に観賞用の舞踏劇に変えさせられ、20世紀後半には海外から訪れた観光客に見せる「創られた伝統」として知られるようになった。文化資源を再構築して利活用するメリットとデメリットについて、あなたの考えを述べなさい。

- （３）ウクライナ戦争において、イギリスやフランスはウクライナ支援に積極的だが、ドイツやスペインは消極的である。なぜこのように先進国の足並みが乱れているのだろうか。あなたが考える理由を2つあげて論じなさい。

- （４）レイチェル・カーソン（Rachel Carson, 1907-1964）の『沈黙の春』（1962）は、農薬を含む化学薬品の乱用が環境悪化を招くことを告発した名著である。農薬を使用するメリットとデメリットについて、あなたの考えを述べなさい。